

## 8.その他

- ・横断歩道橋の撤去について

## 8.その他 - 横断歩道橋の撤去について

- 今後、ストックマネジメントの最適化を図るため、横断歩道橋の撤去の可能性を検討する

### 現行の方針（現状も含む）

- 原則として地元（自治会等）から撤去要望がある横断歩道橋を対象としていたが、地元からの要望は少ない。
- また、老朽化の進行に伴い横断歩道橋の更新が必要となる場合には、撤去の検討対象に含めることとしているが、現在のところ更新箇所はない。

### 今後の方針

その他の優先順位の考え方として、施設毎の地域条件等を考慮し、ライフサイクルコスト（LCC）が縮減されるように考慮することとする。また、一部の施設においては、早期措置段階の施設が多く残っているが、これらが施設利用者等にとって機能上の問題がないケースも見られる。このような場合も含めて、各施設管理者が、施設の劣化状況や利用状況等を鑑み、周辺施設と併せて機能を維持できるように、補修、更新等の対策と、廃止、統合といった集約・再編の検討を、全体最適の考え方で進めることとする。



### 方針 横断歩道橋の撤去の可能性を検討

#### 検討のポイント

- 通学路指定が解除
- 下部工により歩道幅員が確保できていない
- 利用率が低い
- 建設後50年が経過
- 点検による診断がⅢ判定以上
- 付近に代替施設（横断歩道等）がある

「インフラ長寿命化行動方針（静岡県交通基盤部）/令和6年3月」より抜粋